

商品名 ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオス 医薬品基本情報

薬効	2499 他に分類されないホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	一般名	チルゼパチドキット（2）
英名	Zepbound	剤型	キット類
薬価	10180.00	規格	12.5mg 0.5mL 1キット
メーカー	日本イーライリリー	毒劇区分	(劇)

ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオスの効能・効果

肥満症

ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオスの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、糖尿病性前昏睡、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、1型糖尿病、2型糖尿病を有する緊急、2型糖尿病を有する手術、2型糖尿病を有する重症感染症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 2型糖尿病	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
3. インスリン依存状態、2型糖尿病、重度胃腸障害、重症胃不全麻痺、膵炎の既往、低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取、急性期治療を要する非増殖糖尿病網膜症又はその既往、糖尿病黄斑浮腫又はその既往、増殖糖尿病網膜症又はその既往、甲状腺髄様癌の家族歴、多発性内分泌腫瘍症2型の家族歴、甲状腺髄様癌の既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオスの副作用等

1. 胃腸障害	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 低血糖、低血糖症状、脱力感、高度空腹感、冷汗、顔面蒼白、動悸、振戦、頭痛、めまい、嘔気、視覚異常、重篤な低血糖症状、意識消失、膵炎、胆嚢炎、胆汁うっ滞性黄疸、アナフィラキシー、血管性浮腫	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 急性膵炎、嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛、胆管炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 悪心、嘔吐、下痢、便秘、腹痛、消化不良、食欲減退、注射部位反応、紅斑、そう痒感、疼痛、腫脹	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 心拍数増加、低血圧、血圧低下、腹部膨満、胃食道逆流性疾患、おくび、鼓腸、胆石症、糖尿病網膜症、過敏症、湿疹、発疹、そう痒性皮疹、味覚不全、異常感覚、膵アミラーゼ増加、リパーゼ増加、体重減少、疲労、浮動性めまい、脱毛症	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 抗チルゼパチド抗体、内因性GIPに対する交差抗体、内因性GLP-1に対する交差抗体	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 胃腸障害、急性膵炎	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 胆石症、胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸、腹痛、腹部症状	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 急性膵炎、下痢、嘔吐、脱水、急性腎障害、血圧低下、急激な高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病網膜症の顕在化、糖尿病網膜症増悪、胎仔毒性、胎仔骨格奇形、胎仔内臓奇形、母動物摂餌量低値、母動物体重低値、甲状腺C細胞腫瘍、甲状腺C細胞腺腫、甲状腺C細胞癌	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 内因性GIPに対する中和抗体、内因性GLP-1に対する中和抗体、中和抗体	記載場所	使用上の注意
	頻度	5%未満

ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオスの相互作用

1. 薬剤名等：チルゼパチド含有製剤			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	本剤はチルゼパチドを含有	指示	禁止
2. 薬剤名等：GLP-1受容体に対するアゴニスト作用を有する薬剤			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	本剤はチルゼパチドを含有	指示	禁止
3. 薬剤名等：糖尿病用薬			
発現事象	低血糖	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意
4. 薬剤名等：経口避妊薬			

発現事象	効果を減弱	投与条件	投与開始初期、 漸増後初期
理由・原因	本剤の胃内容物排出遅延作用	指示	注意

5. 薬剤名等：クマリン系薬剤

発現事象	GLP-1受容体作動薬との併用によりワルファリンのtmaxが遅延、エキセナチドで出血を伴うINR増加	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃内容物排出遅延作用	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.